

Cバスについて

(質問) Cバスは、西部路線が平成17年4月、南部路線は平成23年4月から本格運行された。西部路線と比べ南部路線は、収支率が10ポイント悪い。そこで、南部路線の収支率の向上に向けた取り組みとして、CバスをFマートサーキット通り店の敷地へ乗り入れてはどうか。

(答弁) 過去には、施設管理者や運行事業者と協議を行っているが、それぞれの観点から、Fマート敷地内へのCバス乗り入れは容易ではなく、実現の可能性について関係者と共に検討していく。

その他の質問 ○ドローン



中学校の部活動の地域移行について

(質問) 令和8年10月に本格実施するまでのスケジュールは。

(答弁) 来年の中学3年生が引退する10月以降に地域移行を実施予定。今年モデル事業で運営団体に事務処理などの助言を行うとともに、生徒の安全確保や不適切行為の防止を図るための研修を実施する。モデル事業実施後のアンケート調査で本格実施に向けての内容を協議し体制整備と情報周知に努め円滑に地域移行できるよう、準備していく。

その他の質問 ○登下校の安全対策 ○円滑な地域協働を推進するための課題解決



まちづくりについて

(質問) 清掃センター建設に当たり、天名地区清掃センター対策委員会と本市は、平成26年に覚書を締結しており、内容には天名地区に焼却施設の新設などは行わないとなっているが、どのように考えているのか。

(答弁) 天名地区清掃センター対策委員会に対して正式な建設に関する依頼を行っている中、覚書については、当事者間で、基本合意の事項を協議、確認していく。

その他の質問 ○市のボランティア
○境界立会い



小中学校のICT化支援体制について

(質問) 今年度より保護者連絡システムtetoruを本市の全小中学校に導入し、学習専用システムミライシードも導入から数年経った。Googleアプリの活用はまだこれからだが、小中学校ICT化支援体制はどう考えているのか。

(答弁) 保護者連絡システムの保護者満足度は95%前後と高いが、引き続き、保護者の利便性向上や教員の業務負担軽減に努めていく。授業改善の促進を図り、クラウドを活用しながら、こども主体の学びの実現を市内全ての学校で進める。

その他の質問 ○文化財のデジタルアーカイブ



国の省庁との人事交流について

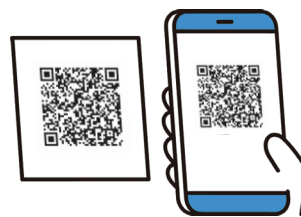
(質問) 行政において職場のスキルを上げるには国の省庁との人事交流が重要であるが、①現状および②今後の展望についてお聞きしたい。

(答弁) ①平成24年度以降継続的に派遣しており今年度は経済産業省と厚生労働省に各1名派遣している。国との人事交流は人材育成にも大きく寄与するなど効果は大きい。②派遣した職員が本市に戻り、国での業務経験を生かして活躍していること、そして東京事務所との連携やさまざまな効果が期待できることなどから、今後も積極的に推進していく。

その他の質問 ○鈴鹿市の文化行政



各委員会での主な議案審査状況および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧ください。



※動画視聴の際は、料金プランなどを確認し、思いがけず高額な請求を受けることにならないようご注意ください。